

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GL1	科名	シューズデザイン科1年	単位	1単位
科目コード		科目名	靴人間工学	授業期間	

担当教員(代表) : 田島智司	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
足と靴の良い関係を模索するための科目で足からのアプローチを主として講義を進め理解を深める。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
ヒトの身体のかたち 四肢の形状を理解する	講義	1
足の基本構造1 骨格配列を理解する	講義	1
足の基本構造2 筋肉、腱、靭帯を理解する	講義	1
ヒトの歩行 あおり歩行を理解する	講義	1
自分の足の観察1 正確なサイズを知る	講義・実習	1
自分の足の観察2 アーチの高さを知る	講義・実習	1
靴のフィッティング	講義・実習	1
自分の足の観察3 日本人平均と自身のサイズを比較する	講義・実習	1
中底型の作製方法	講義・実習	1
足の生理 ミルキングアクションを理解する	講義	1
足の病気と障害1 前足部の変形障害を理解する	講義	1
足の病気と障害2 皮膚、爪の障害を理解する	講義	1
脚の病気と障害 股関節、膝関節の障害を理解する	講義	1
校外学習 リーガルコーポレーション企業見学	見学	2

【評価方法】
学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	自主作製

授業の特徴と担当教員紹介
企業において、靴のデザイン、設計、企画、開発、国内外の紳士靴・婦人靴の生産、靴型設計を担当した業務経験をもとに、多面性を持つ靴と体の関係を「足、運動そして靴」から考察することにより、靴に対する理解度と関心を深める授業を実施

記載者氏名 田島智司

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科名 ファッション工芸各科 1年	単位	2 単位
科目コード	科目名 ハンディクラフト	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	共同担当者 :
------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 各種のクラフトテクニックを、エンプロイダリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。
 特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。
 併せて、学習したテクニックをまとめ、ブックの形式で完成させる。
 それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

【授業計画】

*エンプロイダリー

- ・カラーエンプロイダリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習（4.5）
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得（2）
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習（2.5）
- ・コードエンプロイダリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習（2）
- ・ビーズ/スパングルエンプロイダリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習（1.5）
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習（0.5）
- ・ビーズ/スパングルエンプロイダリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作（1）

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習（1.5）
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習（1.5）
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習（1.5）
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的な
 テクニックの実習（1.5）
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習（1.5）
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習（1.5）
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習（2.5）

イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメレース ひもを手で結び模様を表現するテクニックの実習（2.5）

*一年間の技法を1冊のファイルにまとめる

- ・技法のまとめ（1）

【評価方法】

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GL2	科名	シューズデザイン科（2年）	単位	1単位
科目コード	301950	科目名	ラストメイキング	授業期間	4月～7月（前期）

担当教員(代表)：	伊藤 博通	共同担当者：	
-----------	-------	--------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

足型計測に基づくオリジナルラストマスターモデルを製作することで、造形の感性と表現力を磨くと共に、靴のスタイル、製法による形状の違い、フィッティングに及ぼす影響、等の、ラストの重要性を学ぶ。

【授業計画】

◎テーマ「靴型とは？」	講義	1コマ
◎ラストモデル作製		
・オリジナル靴のデザイン画制作	実習	1コマ
・オリジナルデザインからベースラスト判定	演習	1コマ
・マスターモデル用底ゲージ作製	実習	1コマ
・マスターモデル作製	実習	11コマ
(課題進捗状況によっては、仮靴製作の上、評価実施⇒マスターモデル調整実習)		
※後期別科目の課題では、 製作したマスターモデルを使用し、オリジナルデザイン展示サンプル靴を作製する。		

【評価方法】

- ◎<S～C・F>の5段階評価（モデルとしての完成度、出来栄え、等の評価）
- ・S…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、マスターモデルの再調整を行い、期末日までに課題を提出した
 - ・A…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、仮靴等で自己評価を実施後、期末日までに課題を提出した
 - ・B…意図とする形状が判断でき、仕上りも良好で、期末日までに課題を提出した
 - ・C…意図とする形状が判断できる出来栄えで、期末日までに課題を提出した
 - ・F…期末日までに課題提出しなかった
- ◎評価基準 学業（課題）評価 **40%** / 授業姿勢 **60%**

主要教材図書	無し
参考図書	無し
その他資料	オリジナル（作成）資料

授業の特徴と担当教員紹介

靴作りに必要な靴型、そのマスターモデルの作製は非常に難しい授業課題です。業界で30年以上の経験を持つ講師が、生徒一人一人に合わせた指導を行い、他科目と連携を取って、卒業までに、学生自身がオリジナルデザイン靴を作ります。

記載者氏名 伊藤 博通

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GI1	科名	シューズデザイン科 1年	単位	2 単位
科目コード		科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) :	宮原 勝一	共同担当者 :	
------------	-------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。
 専門分野だけではなく、他分野の講師による講義を通して幅広い知識を得て視野を広げる。
 学校生活や各業界における基本的な知識の習得。就職につながる業界の専門知識の習得。

【授業計画】

- ・学生生活について（コミュニケーションについて）……………講義 1コマ
- ・サステナブルファッション……………講義 1コマ
- ・SNSトラブルと著作権について……………講義 1コマ
- ・ファッショングッズ業界とは（ファッション業界の業種、その仕事について）…講義 1コマ
- ・流行色解説……………講義 1コマ
- ・学生生活について（コミュニケーションについて2）……………講義 1コマ
- ・ファッショングッズデザイナーについて（学生時代にすべき事）……………講義 1コマ
- ・お金について（時事解説を含めた経済の基礎知識）……………講義 2コマ
- ・日本の生活文化（風呂敷）について……………講義・実習 1コマ
- ・ポートフォリオ制作（就職活動に向けた作品集の作り方）……………講義・実習 5コマ
- ・カメラワーク（作品集制作のための写真の撮り方の基礎）……………講義・実習 2コマ
- ・皮革について（皮革の種類や革が出来上がるまで）……………講義 2コマ
- ・アートフラワー（アートフラワーの基本テクニック）……………講義・実習 3コマ
- ・輸入皮革、レザーカービング……………講義 1コマ
- ・金具・ファスナーについて……………講義 1コマ
- ・オリジナルブランド設立について（オリジナルブランドの立ち上げと運営について）……講義 1コマ
- ・デザイナーの仕事について……………講義 1コマ
- ・ものづくりを仕事にする（レディースビスポークシューズについて）……………講義 1コマ

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学内外の講師による、レギュラー授業以外の講義・実習。

記載者氏名 宮原 勝一

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` GG2・GH2・ GL2・GF2 科目コード`	科 名 ファッション工芸専門課程 2 年 科目名 ファッションマーケティング	単 位 授業期間	単 位 ()
-------------------------------------	---	-------------	------------

担当教員（代表）：丹羽一友	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティングの基礎を学び市場の細分化とその特徴を理解しファッションビジネスへの応用、活用を具体的に実行する方法を学ぶ。戦略立案から商品企画までを行い最終的に企画プロジェクトのプレゼンテーションを行い、即戦力としての知識、経験を身につける。

【授業計画】前期（各 1 コマ）

- ①マーケティングの基礎知識（概論）：目的、方法
一般論としてのマーケティングとは何か、マーケティングのプロセスを理解する
- ②ファッションビジネスにおける「実践マーケティング」
マーケティング手法を具体的にファッションビジネスに落とし込む方法を理解する
- ③「消費者行動」と「ファッション表現」
マーケティングの対象者である顧客のファッションにおける消費行動を理解する
- ④ファッション業界を取り巻く現状：統計データより
現状のファッションビジネスのおかれている状況を具体的な数字データをもとに理解する
- ⑤国内流通の現状について：川上～川下（企業別データ）
国内のファッションビジネスのサプライチェーンの基本と変化を理解する
- ⑥国内小売業について
国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する
- ⑦ブランディングについて
「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する
- ⑧戦略、ブランディングの実施
リサーチ結果から戦略を立て、ブランディングを行う具体的な方法を理解する
- ⑨戦略、ブランディング発表
仮説としての戦略、ブランディングを発表することにより、進むべき方向性の確立を行う
- ⑩情報収集とリサーチ
マーケットの流れ、ライフスタイルなどの仮説を立て検証し戦略立案を行う方法を理解する
- ⑪リサーチのまとめ
実際に立てた戦略に対しての仮説がリサーチの結果どのような状況であったかを分析
- ⑫リサーチ発表
仮説とリサーチ結果を分析、考察、修正を実際に行いプレゼンテーションを行う（ツールの作成）
- ⑬マーチャンダイジング及びプロモーション
リサーチ結果をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する
- ⑭マーチャンダイジング実施
商品企画の実施
- ⑮マーチャンダイジング発表
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーションの方法を理解する

【評価方法】

プレゼンテーション

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

企業でMDとして商品企画を行っていた経験をもとに、企業でのブランディングから商品企画を実践的に学ぶ授業を実施

記載者氏名 丹羽一友